

予算常任委員会報告

12月15日 開催

委員長 平田 要

予算常任委員会に付託された「令和3年度能勢町一般会計補正予算(第7号)」及び「令和3年度能勢町一般会計補正予算(第8号)」については関連案件であり一括議題とし、委員会を開催し予算内容を審議しました。両議案とも討論はなく、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。主な質疑応答は、次のとおりです。

問 観光物産センター設備改修事業の内容を問う。

答 観光物産センター内の、浄瑠璃舞台設備を撤去し売り場の拡張と、ECサイト(ネットを使ったモノやサービスの販売サイト)商品の梱包用作業スペースの確保のため建物の裏側にプレハブを置く。

新型コロナウイルス感染症対策として、売り場、レジ等の混雑対策と、ECサイトにより観光物産センターの品物を届けることとする。指定管理運営の中でリスク分担について協議の上、負担金を拠出する。

問 乗合タクシー実証運行事業について、住民の意見にどの様に対応していくのか。

答 地域公共交通会議で協議しているが、想定していないことも生じると考えられる。事業者との協議も必要なところ等、きめ細かに対応していく。

利用予約は町で受付を考えている。そこで意見を集約し、地域公共交通会議にフィードバックしていく。

問 子育て世帯への臨時特別給付金対象者数について問う。

答 給付対象を914人で計上している。児童手当受給者574人に一括で10万円を支給する。振込は12月28日を予定している。児童手当対象外の方については、12月下旬にお知らせをし、申請を受け2月上旬の支給になる。

問 子育て世帯への臨時特別給付金を一括現金給付で柔軟に対応いただけるが、現金5万円とクーポン5万円と示された方針には景気浮揚策もある。地域の活性化をしていかなければならないところであるが、考えを問う。

答 政府の方針が、多くの声の中で早急に5万円を国民に送りたいとの声がかんたん高まってきたところである。景気浮揚策の観点もあるが、現金を給付することでクーポンより早く需要が喚起されるとの考えもあり、10万円一括給付が一番景気浮揚策に繋がると考える。

問 義務教育学校移行に伴う事業予算について問う。

答 義務教育学校に移行する経費として、学校印、学校旗の新調を始め、各教室の表示シート、教育支援ソフト改修、正門の掲示変更、校歌の一部を改めるなど、作業を一括でしていきたい。

続いて、「令和3年度能勢町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)」を議題とし予算内容を審議しました。質疑、討論はなく、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。